

エコアクション 21

環境経営レポート

2022 年度版

【2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日】



発行日 2023 年 5 月 31 日

 **TOKAI RIKAI Smart Craft** CO.,LTD.

<https://www.trsmartcraft.jp>

目次

1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 環境管理実施体制	5
4. 2022 年度：環境経営目標	7
5. 環境経営活動計画と取り組み評価	8
6. 環境経営活動状況（取り組み事例）	9
7. 環境経営目標の取組結果と評価	16
8. 次年度の環境経営目標と主な取り組み	16
9. 環境関連法規等の遵守状況と評価	17
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	18

1. 会社概要

会社名	東海理化 Smart Craft 株式会社 (旧 理化精機株式会社)
代表者	代表取締役社長 直井 滋樹 環境管理責任者 都築 慎也
資本金	3,000 万円
売上高	21 億円 (2023 年 3 月期)
従業員数	184 名 (2023.3 月時点)
所在地・事業内容	本社・大口工場 愛知県丹羽郡大口町豊田 3 丁目 260 番地 (株東海理化大口工場内) TEL 0587-22-8716 FAX 0587-22-8736 事業内容：設備、治工具及び、部品の製造・販売、計測 榎山工場 愛知県岡崎市榎山町字新居野 53 番地 6 TEL 0564-82-3127 FAX 0564-82-3495 事業内容：金型部品の製造・企画営業 自動車部品（キーセット補給品）製造・販売、計測 音羽工場 愛知県豊川市赤坂町平山 1 番地 (株東海理化音羽工場内) TEL 0533-88-4188 FAX 0533-88-6515 事業内容：金型及び金型部品の製造・販売、計測

2. 環境経営方針

* 弊社、自動車部品の生産設備等や単品部品の成型金型等、設計・製作・販売の事業展開において下記、経営理念に基づく環境経営方針を推進する。

1. 経営理念、社員行動指針に基づき環境への取り組みを進めます。

(1) カーボンニュートラル実現に向けての活動

※主な取り組み項目※

地球温暖化防止 ……CO₂の削減 (再生エネルギーの活用を含む)

仕事・資材の効率化 ……省エネ、省資源

リサイクル ……資源の循環

廃棄物削減 ……省資源化

グリーン調達 ……自然環境保護

省エネ設備導入 ……消費電力の低減

(2) 生物多様性 ……自然環境保護、地域社会貢献

2. 法・地域や顧客との約束を守り、さらに目標を定め、

環境汚染の未然防止を進めます。

……法令順守

3. 環境委員会を設置し、継続的な環境改善活動を展開します。

……EMS 構築

経営理念：3 項

社会の一員として、法と倫理を遵守し、自然・地域と共生する企業をめざす。

社員行動指針：9 項

エネルギー・資源の有効利用および環境負荷の低減につとめます。

改定日：2023 年 2 月 21 日

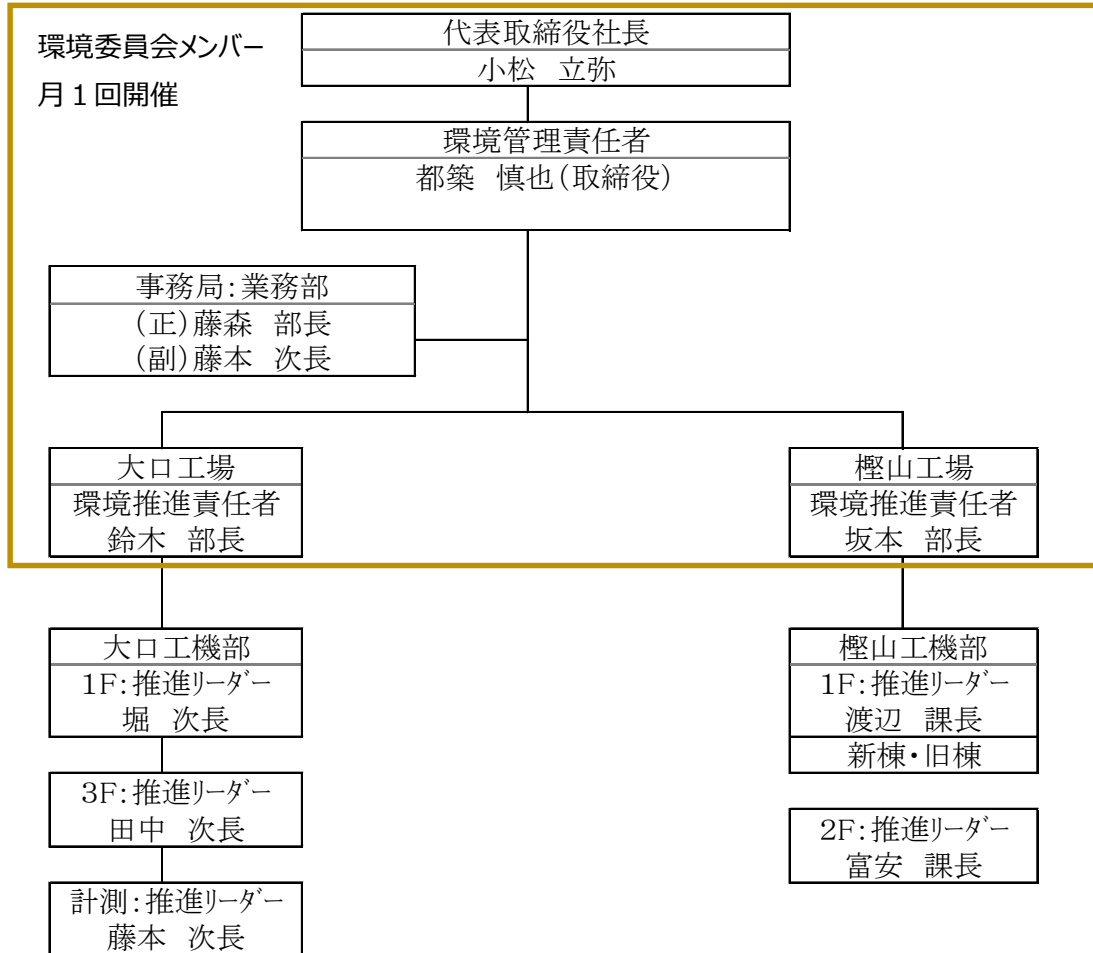
東海理化 Smart Craft 株式会社

代表取締役社長 **直井滋樹**

3. 環境経営管理実施体制 (2022年4月時点 理化精機株式会社)

(1) 組織

2022.4.1 付



(2) 対象範囲

本社・大口工場	
* 設備、治工具及び部品の製造・販売と計測事業など	
榎山工場	
* 金型部品の製造、自動車部品(キーセット補給品)の製造、企画営業、計測事業	

(3) 役割・責任・権限表

担当	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な設備、費用、時間、技能・技術者準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動（EMS）内部監査結果、是正処置等を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開 ・環境委員会の開催 ・上部環境活動展開事項への対応と社内展開
環境推進 責任者及び 推進リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成および運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・地域社会においても、環境意識を持って行動する
(代表者・各責任者) 環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・各部の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境活動に関する意見交換

4. 2022 年度：環境経営目標

(1) 環境経営目標の設定

項目		単位	中長期目標設定
二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂) (2019 年度基準)	電力総消費量低減 * 第 7 次プラン	kWh	2013 年度 2019 年度実績基準 2025 年度 35%低減
	化石燃料消費量 (ガソリン・軽油・灯油)	ℓ	
	LPG	m ³	
廃棄物排出量	金属 樹脂・ビニール類 木 油類など	kg	2011 年度実績基準 毎年 1 %低減
水使用量	投入量	m ³	

(2) 目標設定

項 目	基準年度 2022 年度 は該当無し	2021 年度 実績	2022 年度 目標
* 電力消費量 (kWh) : 総量 (kWh) 総量 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	2013・2019 年度 414,082 210.8	378,865 161.6	375,000 155
* ガソリン使用量(ℓ) 総量 (リットル) : 係数 × 0.002320 総量 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	2011 年度 25,896 60.1	13,751 31.9	13,613 31.5
* LPG (m ³) 総量 : 係数 × 0.003000 総量 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	2011 年度 18.7 0.54	72 0.2	166 0.5
* 産廃焼却処理 (kg) : 係数 × 0.00290 総量 (kg) 総量 焼却処理 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	2011 年度 8,500 24.7-	4,047 11.7	4,007 11.6
★温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) 総量 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) 電力+ガソリン+LPG+産廃焼却=合計 t-CO ₂	296.1	205.4	198.6
水使用量(m ³) : 投入 (上水)	2011 年度 1354	434	430

* CO₂ 排出係数 kWh⇒t-CO₂ (2023 年 3 月更新)

0.000388 (大口・音羽 = 中部電力)

0.000399 (檜山 = オリックス)

の排出係数で総量を算出する。

5. 環境経営活動計画と取り組み評価

2022年度:環境経営活動計画

2022.3.17作成

*2022年度(2022.4月~2023.3月)

2023.2.21評価

項目	取組項目	具体的活動事項(手段)	日程	評価	対象
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要な照明や離席時の消灯徹底 PCディスプレイの省エネモード設定 空調設備の点検、清掃(日常点検) クールビズ、ウオームビズの実施 空調(エアコン)運転管理の徹底(室温管理) 蛍光灯照明のLEDへの切り替え 生産設備の共有化(設備削減=効率化) ★作業改善による仕事、資源の効率化 	年間 ↑ 夏期:7月~9月 冬期:12月~3月 ↑ 年間都度 年間都度 年間	○ ○ ○ ○ ○ ○ △	全社 ↑ ↑ ↑ ↑ KS課 全社
	ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの啓蒙と実践 車出張の効率化 社有車:更新時に電気自動車化 	年間 年間 更新時	○ △ ×	全社員 ↑ 総務課
	その他化石燃料の削減	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの活用(太陽光パネル) 	11月~	○	樫山工場
	グリーン購入推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生エネルギー比率の高い電気購入 コピー紙、事務用品など再生品の購入 	年度内都度 年間	× ○	樫山工場 全社
廃棄物の排出量削減と適正管理	一般廃棄物の削減 リサイクル化	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙削減(両面コピー、裏面利用) 使用済み封筒の再利用 社内共有事務用品のフロー一元管理 紙類の再資源化(回収再生業者渡し) 	年間 ↑ ↑ ↑	△ ○ ○ △	全社 ↑ ↑ ↑
	産業廃棄物の削減 資源の再利用	<ul style="list-style-type: none"> 加工材料(金属、樹脂、油など)端材活用 部材購入と在庫管理の見える化 産業廃棄物の分別徹底、リサイクル率向上 不良品の低減 	年間 ↑ ↑ ↑	○ ○ △ △	全社 ↑ ↑ ↑
	廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> マニフェスト発行と契約書類の管理 廃棄物処理委託業者の法的点検 	年間 年1回	○ ○	大口・樫山
その他	「環境月間活動」 環境教育・環境意識啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> 環境ポスターの掲示、環境マガジン配信 環境ムービー視聴、環境検定応募展開 環境KYT 	6月 ↑ ↑	○ ○ ○	全社 ↑ ↑
	生物多様性取組	<ul style="list-style-type: none"> 里山保全活動へ参画 工場周辺ごみ拾い活動へ参画 外来種駆除活動への参画 	3~12月 4~9月 都度	× × ×	樫山工場 大口工場 全社
	フロン排出抑制法への対応	<ul style="list-style-type: none"> 簡易点検、定期点検の実施と記録 	年間 (1回/3ヶ月)	○	樫山・大口
	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い場、トイレ等の節水活動 水圧の低圧化 	年間 ↑	○ ×	全社 ↑
	環境関連法の順守	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動推進計画書に基づく実施 	年間	○	全社

評価判定基準	評価	基準
	○	おおむね実施できた
	△	取り組んだが、十分な実施と成らなかった
×	実施できなかった	



6. 環境経営活動状況（取り組み事例）

（1）省エネ活動

- ① 空調運転ガイドラインに基づく、
省エネ室温管理実施（全社）

★2022年度も継続実施★

・冷暖房機の運転ルール

期間	設定温度
暖房：12/1～3/31	20℃±2℃

冷房：7/1～9/30	28℃±2℃
-------------	--------



- ② 大口事務所 3F：天井照明をLED化

★2022年4月～32本全面完了★

・蛍光灯 58.56kwh×32本 = 1,873.92kwh

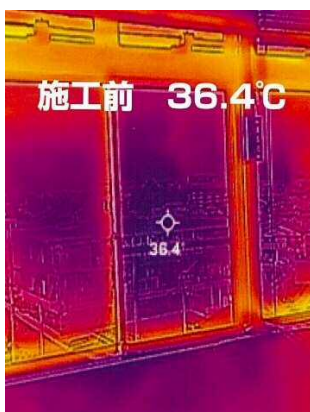
・LED32本 932.72kwh/年低減
1,873.92kwh - 932.72 = 941.20kwh



- ③ 榎山工場に太陽光発電を導入
375w x 135枚 = 50.625kw
モジュール1枚あたり寸法 1,763 x 1,040 x 35mm



- ④ 樫山工場に 窓ガラス用の遮熱コーティング「ガラス Cool コート」を実施
夏の輻射熱による室温の上昇を抑えるだけでなく、冬には保温効果もあり



- ⑤ 省エネ型の設備の導入

樫山工場（複合旋盤）



大口工場（平面研削）



音羽工場（マシニングセンタ）



- (2) 環境：コミュニケーション（環境教育・省エネ意識向上・啓蒙活動など狙い）
 各職場に環境掲示板を設置→各職場 1 回/月環境ミーティング実施
 ★2019 年 4 月～継続実施：写真 2022 年度版★（掲示板：都度メンテ）



（環境経営方針・活動実施体制・環境負荷低減目標・活動計画・SDGs 解説書など）

(3) 資源の 3R 活動（リデュース・リユース・リサイクル）

① 廃棄物の分別細分化による資源の有効活用



② 金属リサイクルによる有効活用（有価物化）



(4) 環境強調月間の活動（全社社員展開）

社員への環境意識啓蒙

★2022.6月期間：実施★

* 東海理化グループ全体の取り組み、弊社も同様の活動を展開 *

2022年度「東海理化環境月間」企画



生産環境委員会事務局 / 生産管理課
作成：2022年 4月 29日

1. 目的

環境月間 イベントを通じて、当社を取り巻く環境問題を知り、自ら行動を起こす契機とする。
特に、カーボンニュートラルに重点を置き、取り組みの活発化を促す。
*環境省の主導により、6月の1ヵ月間を「環境月間」に設定

2. 本年度の展開

◆「学習」を通じて、環境問題に対する社会動向を知り、取り組みへの理解と関心を深める。
- 環境月間ムービー、環境KYTなど
◆「実践」を通じて、自ら環境取り組みの行動を起こす契機とする。

3. 実施事項一覧

行事・イベント	実施事項	活動の対象範囲				実施期間等
		T R J	国 内 G	海 外 G	家 族	
学 習	二之夕社長ビデオメッセージ	○	○	○		6/1展開
	環境月間ムービー NEW!	○	○	○※1	○	6/1～6/30 (計3回)
	環境KYT	○	○			6/1～6/30
	環境講演会動画配信 NEW!	○				6月下旬 (日時は別途展開)
実 践	Web環境検定 NEW!	○	○			6/1～6/30
	創意工夫提案 環境強化月間	○				6/1～6/30
	地区環境事務局別取組み	○				6/1～6/30
告 知	環境月間の(P)掲示	○				6/1～6/30
	PCポップ画面による 告知	○				6/1～6/30 (計5回)
	社内報による告知	○				6/1展開

※1 拠点表、日本人出向者対象。

① Web 環境検定の実施

2022年6月
 全社環境事務局
 (生技管理部)

毎年 https://blog-001.west.edge.storage-yahoo.jp/res/blog-37-81/kounao2905/folder/813382/90/13466990/img_471205486627 です。環境検定に挑戦して、楽しく知識を深めましょう!!
 ひとりで解くのも良いし、協力して解くのも良いし、それぞれに合った方法でチャレンジしてみましょう!!

◆参加方法

①会社PCで参加する場合
 下記リンク先より参加ください
 ● <https://forms.office.com/r/Y2S419Qex4>

②自身のスマホで参加する場合
 右記QRコードより参加ください

◆環境に関する問題20問に挑戦しよう!

例題 温暖化対策をしないと、2100年の気温は2000年と比べて何℃上がる?
 ①約1℃ ②約3℃ ③約5℃

90点以上で合格だよ

◆環境月間で取組む行動を宣言しよう!

例 ・非稼働設備の電源をOFFにします
 ・生産を効率化し、無駄な電力使用をなくす

◆合格者の中から抽選でエコグッズをプレゼント!!

【A賞】
 節水シャワーヘッド
 60% 節水
 どんなシャワーでも取付可
 アダプター4種付

【B賞】
 エコスポーツ モルック

【C賞】
 ソーラーモバイル
 バッテリー
 20,000mAhの大容量
 防塵・防水・耐衝撃で
 アウトドアでも活躍

【D賞】
 旬魚の水煮
 アソートセット(12缶)
 今朝の浜
 未利用魚を活用して
 作られたエコな缶詰

【E賞】
 TRリサイクルトート

東海理化のシートベルト
 端材を活用して作った
 エコなトートバッグ

合格できなかったらもう1回チャレンジだ!

【応募期間】 6/1~6/30 【問い合わせ先】 生技管理部 施設環境室 環境エネルギーG 金森
 社内：2126 社外：070 2244 1973

② 環境 KYT (危険予知) シート (8 事例実施)

環境KYT事例シート【No.27】

【状況】
 日常の行動の中から、SDGsの観点で改善できることを見つけてみましょう。

⇒シート「SDGsの説明」にてSDGsを知りましょう。

実施日	2022年 6月 28日(火)		業務部 計測 室・課	G・係
リーダー	加藤	メンバー		
書記	古池			

ステップ1 SDGsの観点でどんな改善点がありますか?

NO.	評価	SDGsの観点から〈例〉~なので、エネルギーのムダになる
1	◎	日中にも関わらず、照明がONになっているので、エネルギーのムダ
2	◎	外出してきた女性が奥袖にも関わらず、エアコンの設定温度が冷房の23℃設定なので、エネルギーのムダ
3	◎	ゴミの分別ができていない為、リサイクル可能なゴミも廃棄している
4	◎	レジ袋を使用しているため、海洋汚染に繋がる可能性がある
5	○	シンクに油をそのまま流しているため、川に流れて水質が汚染される
6	◎	密着中に水が出っぱなしになっているのでムダ
7		
8		

ステップ2 直ぐにでも実施できる改善は?(ステップ1の評価に○◎印をつける*)
 ステップ3 あなたならどうしますか?(◎に対する対策) *いくつでも可

NO.	評価	SDGsの貢献につながる改善内容
1		照明はこまめに消灯する
2	*	エアコンの設定温度を26℃~28℃に設定する
3		ゴミ箱を増やして分別可能にする
4		エコバッグに変更してプラスチックごみを減らす
5		水はこまめにとめる

ステップ4.目標設定(ステップ3の評価に*印をつける「私たちは、こうする」)
 ○○○のときは、○○○をして ○○しよう ヨシ!

エアコン使用時は、設定温度の見直しをして エネルギーのムダ無くそう ヨシ!

部長	室長・課長	GM・係長

③ 環境月間ムービー-全員視聴参加



(5) その他

① 生物多様性保全活動への参加

・樫山工場：男川沿いのゴミ拾い活動



② 2020年から世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染拡大防止の

取り組みを 2022 年度も継続実施。

* 弱酸性除菌水（ハサブアクア）の
販売及びグループ会社へ展開 *



③感染防止対策の継続的实施

- ★全社員：毎日の体温測定管理・こまめな手洗い消毒・ソーシャルディスタンスの確保など実施★
- ★飛沫防止アクリル板の設置とマスク着用の徹底・テレワーク・リモート会議など対策実施★
(工場エリア)



(事務所エリア)



④新型コロナワクチンの職域接種（親会社でグループ会社の社員と家族の希望者へ接種）

- ★2021年4月～7月（1回目） 5月～8月（2回目）
- ★2022年3月～5月（3回目） 7月～9月（4回目）

上記のスケジュールで実施

7. 環境経営目標の取組結果と評価

* 目標と実績 *

* 2021 年度より、総量低減目標とする *	2022 年度必達目標	2022 年度実績	評価
電力消費量 (KWh) : 総量 (kWh) 総量 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	375,000 155	323,743 127.9	○
ガソリン (ℓ) : 総量 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	13,613 31.5	11,040 * 1 25.6	○
* LPG (m ³) : 総量 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	166 0.5	16.7 0.1	○
* 産廃焼却処理 (kg) 焼却処理 CO ₂ 排出量換算 (t-CO ₂)	8,500 24.7	3,210 9.3	○
★二酸化炭素排出量 (t-CO₂) 総量 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) ※電力+ガソリン+LPG+産廃焼却=合計 t-CO ₂	211.7	162.9	○
水使用量(m ³) 投入 (上水)	429	322	○

* 1 ガソリン使用量 全社 14,052 ℓ を工場別で把握できないため、社有車の保有台数で按分しました。

全社 14 台中、大口 6 台・榎山 5 台の計 11 台

8. 次年度の環境経営目標と主な取り組み

目標	取組項目
★電力消費量 総量：1,245,000kWh 7 次プラン * 530t-CO ₂ (必達) * 2	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な省エネ取り組みの推進 (コンプレッサーエアの低圧化) ・エネルギーや資源の使用効率を向上させるための生産性向上策の推進 ・再生可能エネルギーの利用 ・LED 照明の普及
★ガソリン消費量 使用量：6,689 ℓ 以下 前年度 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員にエコ運転の意識を広めるための啓蒙活動 ・社有車のさらなる燃費改善と低燃費車 (EV) への移行
★LPG 消費量 使用量：164 m ³ 以下 前年度 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器の湯を出し放しにしない。
★産業廃棄物の排出量(焼却) 使用量：4003kg 以下 前年度 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減と効果的な分別の徹底 ・ものづくり活動の効率化を推進 ・廃棄物のリサイクルおよびリユースの拡大
★水使用量 322 m³以下 前年度 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、手洗い等の節水活動
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・再生品の購入など、グリーン調達を継続して推進 ・会社周辺地域の清掃活動への継続的な参加 ・生物多様性の活動に持続的に参加

* 2 2023 年度については、音羽工場が加わり CO₂ 排出量の増加が見込まれるが、音羽工場での環境負荷低減活動の推進を想定した状態の目標値を設定。

9. 環境関連法規等の遵守状況と評価

法令の名称	要求事項	評価
環境基本法	事業活動に伴う環境への負荷低減、その他の環境の保全に自ら努めるとともに、 国または地方が実施する環境保全に関する施策への協力	○
廃棄物処理法	産業廃棄物及び一般廃棄物の適正処理 収集・運搬・処理委託業者との契約締結 マニフェスト交付状況の報告	○
水質汚濁防止法	有害物質、油等の流出事故時の届出と必要な処置 (公共用水域・下水道流出・地下浸透時)	○
騒音規制法 振動規制法	規制基準の遵守 (施設境界線：測定管理) 騒音・振動、特定施設導入前の届出	○
消防法	指定可燃物及び、危険物の指定数量管理と届出 (榎山工場：油類、少量危険物取扱所届出・認可)	○
電気事業法	法対象設備の管理及び規定に基づく届出 (榎山工場：受変電設備対象)	○
フロン排出抑制法	修理・廃棄時の登録業者委託、引き取り証明書の保管と記録 対象機器の点検	○
その他 ・労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査及び、健康障害防止処置 (リスクアセスメント実行)	○
* 遵守状況について ・現在、自社の遵守状況評価で問題が無いことを確認		

* 環境関連法規の順守状況は、年1回：環境法令遵守チェックシート（詳細点検）で実施

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

◇はじめに

当社は、株式会社東海理化 金型部門と設備・金型を手掛ける東海理化の子会社である理化精機株式会社が発展的な統合を目指し 2022 年 7 月 1 日に発足しました。

2022 年度の活動報告は、新しい音羽工場の活動が 1 年に満たないため、大口工場、樫山工場の 2 拠点での報告としました。尚、実施体制についても、旧 理化精機の体制にて報告いたします。

東海理化グループとの連携を図りながらも、独自の取り組みをして環境目標の達成に向けエコアクション 21 の継続的な活動を推進します。

① 環境経営方針について

2050 年カーボンニュートラルゼロの実現にむけて、近年、再生エネルギー利用を促進していきたい。同じ電気を使用するにも、CO2 排出係数が少ない電気購入を検討いたします。

② 経営環境目標及び経営環境計画について

基本的には、「法違反 0 件」と「環境負荷の低減」を継続し、CO2 排出量の削減と 3R 活動に力を入れました。嬉しいことに、CO2 排出量削減の目標を達成することができました。

・総排出量 * 電気消費量 + 化石燃料使用量 + 廃棄物焼却量 * による、二酸化炭素排出量

2022 年度 必達目標 : 211.7 t-CO₂ 以下

2022 年度 実績 (★) : 162.9 t-CO₂ ... 目標達成

また、環境に関する法規に適切に対応し遵守していきます。

今後も環境関連の法規動向を注視しつつ、必要な情報を収集し「法違反ゼロ」に向けて努力していきます。

引き続き、従業員全員で持続可能な環境経営を推進していきます。

③ 実施体制

音羽工場が追加することで、3 工場全体で従業員が 100 人以上になったため、環境管理実施体制の役割として「EMS システムの内部監査」を実施することにいたしました。

音羽工場の報告は、2023 年度からレポートしてまいります。

◇総括

今年は会社設立という大きな変化を経験しました。新型コロナウイルス感染の影響もあったものの、環境活動や目標達成においてほぼ予定通り進めることができました。東海理化グループ全体で中長期的な環境目標（第 7 次プラン見直し）に向けて積極的に取り組み、SDGs に基づいた事業展開と社会的責任を追求していきます。

作成日：2023 年 5 月 31 日（2022 年度の活動評価）

東海理化 Smart Craft 株式会社

代表取締役社長 直井 滋樹